



『 放射線について 』

放射線はどのようなものか理解しづらいですが、地震による原発事故で色々知られるようになってきました。事故では放射性物質が風や水により運ばれ、その場所で放射線を出し続けています。

放射線による障害は体の組織やDNAを傷つけることで起こり、身体的なものや遺伝的なものがあります。

放射線障害を軽減するには遮る、離れる、そこにいる時間は短くというのが基本になります。私たちは大地・宇宙・食物などから、わずかながら放射線を受けています。

放射線の利用ではラジウム温泉がよく知られていますが、他にも農業・工業・医療と多くの場所で利用されています。

特に、医療ではX線を用いた胸の写真やCT検査、がん治療などで利用され、多大な貢献をしています。

なお、原発事故によって放射線被爆への関心が高まっていますが、健康診断などで受ける被爆量は、人体に悪影響を与えるほどの量ではありませんのでご安心ください。



胸部X線



CT検査

鹿児島県厚生連
中央検査室
室長 石山 重行